

30. 小児脳腫瘍

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
					体外照射	定位放射線療法	IMRT	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 小児科	14	1	状況	×	○	×	×	×	×	地域中核病院として、一般診療から幹細胞移植を含む専門診療まですべての小児科診療に対応し、新生児から思春期、一部成育期まで治療を続行しています。	ア	小児科 http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s15.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
2 脳神経外科	5	5	状況	○	×	×	×	×	×	最も得意とするマイクロサージェリーを中心として、血管内手術、CT 定位脳手術、神経内視鏡手術、各種神経ブロック術を行っているほか、深部脳電気刺激療法、低脳温療法、各種化学療法、放射線療法も駆使して、集学的治療が可能な態勢をとっています。	ア	脳神経外科 http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s24.html	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
3 放射線治療科	2	2	状況	×	×	○	○	○	×	化学療法は単独で癌を根治することが難しく、補助療法として用いられるためこのような呼び方がされます。当科では肺癌の定位照射やIMRT(強度変調放射線療法)などの高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的に行っています。	ア	放射線治療科 http://www.osaka-med.jrc.or.jp/gairai/s31.html	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
4			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
5			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫
 昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日~12月31日